

2021年7月16日 第3361回例会

於：メルキユーールホテル横須賀『パリ』



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

<点鐘・開会> 12:30 八巻 会長

<斉唱> 「それでこそロータリー」

<ゲスト紹介> *国際ロータリー第2780地区

第1グループガバナー 田島 透 様

*国際ロータリー第2780地区第

第1グループガバナー補佐 北村 理和子 様

<会長報告> *第1回理事役員会報告

- ① 年間プログラム、新会員卓話、緊急事態宣言発令時対応について
- ② ガバナー及び地区出向者ミーティング、9月・10月の例会について
- ③ 卓話者の軍港巡り希望について
- ④ インターアクトの地区大会について
- ⑤ 第1グループの合同例会について
- ⑥ 熱海災害の義援金について
- ⑦ ロータリーソング及び中期ビジョンの周知について

*ガバナー事務所より

・クラブフューチャービジョンセミナー開催案内について

<委員長報告> *インターアクト委員会 二瓶副委員長より

① 「4大事業」を中心とした年間活動計画について

1. 年次大会(11月23日) 2. 台湾への海外研修(12月25～28日)
3. 新世代交流会(3月21日) 4. 一泊研修(3月26～27日)

② 地区内担当校について

ホスト及び(地区代表)DER 鎌倉学園、副DER 光明学園及び三浦学苑

③ アクターズミーティング開催予定について

日時：8月7日(土) 14時～16時 於：アイクロス湘南

ZOOM 併用のハイブリットを予定

感染状況によってはフルオンラインに変更

④ 「ロータリー奉仕デー・地球環境プロジェクト」へのガバナー要請について

<幹事報告> *例会終了後、田島ガバナーとの懇談会開催について

<出席報告> *出席委員会 加藤 尊 委員長より7月16日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メークアップ数	出席率
121名	110名	84名(7名)	26名	7名	82.73%

<ニコニコ報告>

- ・国際ロータリー第2780地区ガバナー 田島 透様 ガバナーに就任して15日の田島透でございます。本日は横須賀RC様へ公式訪問に伺いました。ドキドキ、ワクワクしております。横須賀RC様の益々のご発展をご祈願いたします。
- ・第1グループガバナー補佐 北村理和子様 本日、田島ガバナー公式訪問に随行して参りました。例会後の懇談会へもご協力よろしくお願ひいたします。
- ・三 役 国際ロータリー第2780地区ガバナー 田島透様ようこそお出で下さいました。本日の公式訪問よろしくお願ひいたします。
- ・大野 健、大石、長谷川、Loknath、田中 伸、鈴木 健、比 護、柴 田、新倉 健、前 田、猿丸、梁 井、新倉 健、畑、上 林、福 西、小 沢、小 平、二 瓶、田 村、杵 渕、佐久間、若麻績、江 口、加藤 尊、吉 田、鈴木 豊、野 坂、角 井、濱 田、徳 永、波 島、田 邊、勝 見、小佐野、加藤 尊、岡田 健、小山 健、谷、瀬 戸、

中村 備、飯 塚、長 尾、澤 田、勝 間、江 沢、植 田、長 坂、小山 備 各会員

国際ロータリー第2780地区ガバナー 田島透様、ようこそ例会にお出で下さいました。卓話を楽しみにしています。

- ・2020-21年度岡田会長、鈴木 幹 幹事 オリンピックですが無観客となっしまい、ロータリーオリンピックツアーは残念ながら中止とさせて頂きました。259枚のチケットを手配して頂きました。JTB馬場会員、本当に最後まで有難うございました。TVで観戦して全選手を応援したいと思います。
- ・馬 場 会員 東京2020無観客決定にてツアー中止となりました。お申込みいただいた会員の方々ありがとうございました。記念にチケットをお渡し致します。来週からTVの前で応援しましょう。
- ・新倉 健、松本 朋、浅 葉 各会員 いよいよ2020東京オリンピックの開幕が1週間後に迫ってきました。7月23日(金)～8月8日(日)までの17日間、暑い声援を送り盛り上げましょう。
- ・新倉 健 会員 1年ぶりに例会場へ伺いました。よろしくお願ひ申し上げます。
- ・澤 田、波 島、椿、齋藤 眞、曾 我、兼 城、小山 備 各会員
新倉会員、お元気なお顔を見れて嬉しいです。
- ・江 沢 会員 八巻会長さん、岡田前会長さんありがとうございました。
- ・笠 木 会員 念願の親睦タスキをかけられました。光栄です。
- ・木 村、小保内、川 出、岩 崎、濱 田、田中 賢、齋藤 眞 各会員
大谷翔平選手、初の二刀流でのメジャー・オールスター出場おめでとうございます。これからも記録をドンドン塗り替えてください。
- ・新倉 健、小山 備 両会員 横浜F・マリノス6連勝。首位を目指し突っ走れ！

<卓 話>

国際ロータリー第2780地区

第1グループ ガバナー 田島 透 様

皆さん、こんにちは。只今北村ガバナー補佐よりご紹介を頂戴いたしました本年度ガバナーを務めさせていましております田島透と申します。どうぞよろしくお願い致します。

ご紹介いただきましたとおり、私は横須賀ロータリークラブさんに大変お世話になっております。2000年にふじさわ湘南ロータリークラブを創立させていただきました。(私は)その時のチャーターメンバーとして、当時小沢一彦様がガバナーでございました。私どもをロータリーへ導いてくださったのが小沢様でございます。そして、その時の地区大会で当時のリチャード・キングRI会長エレクトから認証状を頂戴するという大変光栄な機会を与えていただき、創立当時から大変感謝している次第でございます。

私は今年で66歳になります。ロータリアンとしては21年目となります。いろいろな委員会で、いろいろな形で勉強させていただき本日に至っております。

今年のテーマとして「Do More『END-POLIO』 Grow『MEMBERSHIP』」を掲げ、この1年間頑張っていきたいと考えております。なお、RI会長のテーマであるとか、地区のテーマについては、先週のガバナー補佐訪問で北村ガバナー補佐から細かく説明されているということを伺いました。また、その内容は週報にも掲載されておりますので、省略させていただきたいと思っております。

なぜポリオ根絶と会員増強を私がテーマとして決めさせていただいたかということ、実は私がノミニーの時、今から2年前でございます。杉岡年度でございますが、前半はまだコロナはありませんでした。その年度の後半2月位から新型コロナの影響が出てまいりました。今でこそコロナとの付き合い方というのが、いろいろな形で経験したり、聞いたりして分かってまいりましたが、当時は本当に怖いと



いうか、どうしていいかわからないということで、ほとんどの事業活動が中止あるいは何もしない状態が続いた訳でございます。そして翌年、久保田年度におきましてもほぼ同じような状態でRIからもあまり積極的な行動はするなというメッセージが流れたりしました。また、青少年交換等々の国際的な事業も中止となっております。そのような中において、自分が今ガバナーとして何をしなければいけないかということとその時考えさせられた訳でございます。当時、通常な状態における地区の運営を考えていた訳ですが、昨年、久保田年度になったときに地区大会ですらあのような形で、出席者は100名、いや100名いなかったでしょうか、各クラブの会長さんだけが出席するような形で地区大会を開催しました。今年に入り国際協議会も中止になり、オンラインでの開催になりました。そして地区研修協議会も、その前に地区チーム研修セミナー、そしてPETSがございました。地区チーム研修セミナーとPETSはどうしてもオンラインではなく、リアルで開催させてもらえないだろうか、感染対策をして、広い部屋で何とかできないかということもお話しさせていただいたのですが、どうしても叶わず、すべてがオンライン、地区の委員会もオンラインあるいは中止という状態でした。各クラブにおきましても、例会もできる場所はされていたようですが、ほとんどがオンラインということでございましたが、かなり多くのクラブが例会を休会とされておりました。もちろん奉仕活動もできない時が続きました。その中で私は、去年・一昨年と同じことは繰り返したくないし、では何をしたら良いかということで、ポリオ根絶と会員増強について皆さんにご提案させていただいております。実際にこのことについてRI会長がお話されてことは、先週、北村ガバナー補佐から伺っていると思っておりますので細かいことは申しません。RI会長が、会長テーマとして「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」と掲げております。ロータリアンにもっと行動して、もっと成長しましょうと、そしてインパクトをもたらす奉仕プロジェクトを実行して、そのために会員を増やして参加者の基盤を広げましょうとおっしゃっているので、私はこれを実行したいと思っております。RI会長は、5つの柱を立てております。

「EACH ONE BRING ONE」で会員を増やしましょう。「EMPOWERING GIRLS」で女子のエンパワメント。「END POLIO NOW」でポリオの完全根絶に向けて。そして「環境保全」、7番目の重点分野です。ですからこれをどういう形で自分が地区に行動を起こしに持って行こうとした時に、地区の現状について皆さんと一緒に考えてみないといけないと考えました。そして皆さんと一緒に、現在の地区の加減数を中心にもう一度考えてみたいと思っております。新型コロナで例会とか親睦活動を含めて奉仕活動が計画どおりにできないという制約を受けている状況の中で、我々はこの状況を危機感として受け止めて皆で共有していきたいと考えています。会員数をご覧ください。会員数を見て行きますと、(直近)8年間をグラフに表してあります。相澤年度の2013-14年度は、2,307名からスタートして多少のひっこみはありますが、大谷年度の2,396名まで上り詰めました。その後3年間に渡り減少しております。久保田年度の数値は暫定値ですので、増減がありますが、減少傾向にあることははっきりしております。会員数がこのように減少しているということは、そして女性会員の推移を見ていきたいと思っております。女性会員数はどうかというと、同じく2013年度は175名と少なかったです。それが脇年度の2018年度には271名まで増えました。コロナ禍に

おきまして減少幅は少ないです。今、久保田年度で259名です。何とか女性会員数は踏みとどまっていると感じております。では、入会者と退会者数を年度別で見えますと、この青いラインが入会者、赤いラインが退会者でございます。勿論青いラインが上にあるということは増員で、新会員が多かったということです。最終的に272人の退会に対して172人しか入会されなかった一昨年は100名のマイナスが生じました。逆にこのグラフをご覧になられて毎年250名近く入っていると思っただけです。もし250名の方が10年間にわたって退会されなければ2,500名位の方が残っていた訳でございます。現在の会員数は2,200名ですから、会員数4,000名を超えるビック地区になっていた訳ですが、なかなかそうはいかない訳でございます。退会者が毎年いる訳です、なぜ退会してしまうのだろうかと残念でございます。

次のグラフをご覧いただきたいのですが、折れ線グラフを棒グラフに直したもので、2013年度90名のプラス、2019年度100名のマイナスと、だんだん地区の会員数を減らしているということをお分かりいただければと思います。ただ、女性にしましては、2年前7名の減少、昨年も3名位減少しているというように集計されていますが、女性会員比率は11.6%で踏ん張っております。何とか今年は15%にしたいと感じております。

そのためにも今年は10名のガバナー補佐のうち4名の女性にガバナー補佐をお願いいたしまして、10名中4名の女性のガバナー補佐をお願いし頑張ってくださいしております。私は10月6日に相模原南ロータリークラブに呼ばれました。新会員の入会式があるからということで伺って、女性会員が2名ご入会の新会員入会式に立ち合わせていただきました。同じ日の夜に別のロータリークラブで入会式があったようですが、その日はガバナー補佐会議があったため出席できませんでしたが、7名の女性会員が入会されたということです。そして昨日は、男性ですが、平塚ロータリークラブは1名の入会式と、いろいろなクラブさんが今年は頑張っておられるようで、本当に幸先の良いスタートダッシュができたと思っております、ぜひ皆さんにもご協力よろしくお願ひしたいと思っております。

ちょっと面白いグラフですが、これは会員数とクラブ数の推移を表したグラフですが、やはりクラブ数が増えますと会員数も増えています。新クラブというのは会員の増強に対してすごくインパクトがあると感じています。この会員減少を何とかここでストップさせたいというのが、私の今年の役目だと思っております。そしてCOVID19、新型コロナによって例会を中止したり、あるいはできない状態が多い、こんな時ほど奉仕を責務としている我々ロータリアンとして、「奉仕は誰かの人生だけでなく、自分の人生も豊かにする」ということを心から実感して、その地域社会に対して、やはり我々が地域社会や人々を元気にして、そして豊かにするための活動を推進しなければならないと思っております。

私の両親も「お前のクラブは何をやっているのかね?」と訊くように、ふじさわ湘南ロータリークラブが何をやっているのか知らないのです。皆さんのご家庭ではいかがでしょうか。横須賀ロータリークラブさんが、こういうことをやっていますよ、こういうことでうまくやっていますよと、本当に皆さんのご家族はクラブの活動をご存じでしょうか。あるいは、横須賀で活動されている皆さんが隣の、例えば三浦ロータリークラブさんが何をやっているか、そういうことをお互い同士ご存じでしょうか。ほとんどの方が隣のクラブが何をやっているかも知らないし、私の場合も恥ずかしながら、親でさえも息子のクラブが何をやっているか知らないという状態でございます。それで公共イメージというかロータリーの知名度を向上させるというのは、今までその結果がこのようになっている以上、効果が出ていないことが分かります。勿論65クラブの1クラブ1クラブはしっかりと活動されていますが、毎回奉仕活動というのは一時で終わってしまう。一日で終了してしまい、それが続かないケースが多いと思っております。点的にやって瞬間的にその日だけ終わってしまっただけでは効果が長続きしないと思っております。私は点的・静的イメージ戦略であったことも原因の一つであったと思っております。今年、これを一つのケースとしてやらせていただきたいと思っております。65クラブが一週間に一度一つのことをやったらどうなるのだろう。それも広範囲に、大規模に、ある程度長期間にわたってロータリーの活動を皆さんに分かっていただけたら、それを私たちは、面的・動的イメージ戦略というように考えています。それが世界ポリオデーの実施に結び付いた訳でありまして、それが「ポリオ根絶と会員増強」でございます。背景にあったのが、多くの人々にロータリー活動を理解していただきたい、それで北村ガバナー補佐にご尽力いただきまして、横須賀地区では京急バスの車内広告で「END-POLIO」を広告させていただき、ほぼ全車にその広告を出させていただくことになりました。同時に、神奈川中央交通1,000車両位、全部で2,000車両位あるそうですが、2780地区を走る1,000あまりの車すべてにポリオ根絶のポスターを車内広告させていただきます。箱根登山鉄道の電車の中にも、駅に

もポスターを貼らせていただきます。1日だけではなく、1カ月ないし3カ月という期間においてロータリーを皆さんに知っていただく、それを認知度の向上につながる一つの実験にしたいと思っております。このイメージ戦略を各クラブが利用していただきたい。このようなチャンスは滅多にない。バス会社を始めとして広告宣伝費は無料で協力しております。そういうチャンスを何とか活かして、我々は会員増強にあるいはロータリーのイメージ向上に結び付けられたらと思っております。バスが走るだけで、見て下さる方は見て下さり、何だろうなと思っております。ついては、その間にキャンペーン活動をして、ポリオ根絶について、皆さんでアピールしていただきたいと思っております。私もいろいろな方から「何で今頃ポリオなの?」と問われたという話をよく聞きます。ロータリアンはそのようなことはないと思っておりますが、日本人にとっては危機感がない病気ですので、一般の方はポリオについてご存じないようです。しかし、私より年齢の上の方はポリオの生ワクチンを舐めさせられた方だと思っております。甘く何か訳の分からないものをスプーンで舐めた経験があると思っております。私もそうです。現在の子供たちは、生後3カ月から1年の間に投与される3種とか4種の混合ワクチンの中に入っていますから、生ワクチンを投与されることはなくなりましたが、お母さん方というか子育てをしている女性の方々はよくご存じです。しかしポリオの恐ろしさはほとんど感じていませんが、ポリオは凄く怖いんです。聞いた話ですが、感染力は最大級に強くて、ちょっとしたことで感染してしまう。感染して発病すれば後遺症が残り、手足が不自由になったり、あるいは死に至ることさえあります。日本でも1960年代には数千人という患者が出ました。それでお母さん方が接種を直訴してソビエトから生ワクチンを緊急輸入したという記録が残っています。そして今、コロナの日報のように今日は何千人、あるいは横須賀では何十人と毎日発表されていますが、昔も、今日は何人のポリオ患者が出たというように、ポリオにも日報があったそうです。コロナもポリオも感染症ですから、昔も今も同じことを繰り返しているのだと思っております。我々はワクチンを打っているから安全ではありますが、世界にはポリオで困っている国、非常に危機感を持っている国がまだ多くあるということをキャンペーンでアピールしていただきたいと思っております。私も7年間にわたりインドでポリオのワクチン投与のボランティアに参加してまいりました。子供たちは、いろいろな状況があるのですが、本当に喜んでポリオのワクチンを受けに来てくれます。50人、100人と並んで来られます。その時に、私どもがこれをすることによって、ポリオがインドから無くなった、これからも発症しなくなったという喜びというのでしょうか、これをやって子供たちが救われているということに奉仕できるということは、ロータリアンとして誇りに思える経験をさせていただきました。皆さんもまだまだインドへ行くチャンスがあるかもしれません。その時は一緒に行きませんか。

「Do More『END-POLIO』 Grow『MEMBERSHIP』」ということで皆さんにお願いしたいのはそういうことです。地区全体で面的な形によってロータリーの奉仕活動を皆に分かっていただけるような活動をして、そしてキャンペーンもしていくことが重要だと思います。ただポスターを貼るだけではインパクトは半減してしまうと思います。我々2,300名のロータリアンが、街に出て「ロータリーです。このようなことをやっています。」というようないろいろな活動を行うことがアピールに繋がることだと思います、キャンペーンを今年はやって行こうと思っております。

「Do More『END-POLIO』 Grow『MEMBERSHIP』」についてご理解いただけましたでしょうか。是非これを実行したいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

そして、各クラブにはいろいろな奉仕事業をこなしていただいております。特に私が思うには、新型コロナウイルス感染症の流行によって影響を受けている事業者、多くの地元経済に深刻な影響をもたらしていますが、クラブの基盤は地域社会です。地域に目をやればコロナ禍で疲弊した飲食や観光産業などそれを支える流通・サービス業、またこちらにも医療感謝の方が多くいらっしゃいますが、極度の緊張状態にある医療・介護などのエッセンシャルワーカーなどの存在があります。我々はこれらの方々にロータリアンとして、地域の一員として、2年前から「1クラブ1奉仕プロジェクト」と言っておりますが、これら産業や職種に元気を与える、元気を提供できるような奉仕活動の実現を模索していく必要があるのではないのでしょうか。

「My Rotary」を見ますと、この時期何をしたら良いのかということがたくさん書かれています。緊急事態宣言とかいろいろな話もあろうかと思いますが、緊急事態だからと言っても、ロータリアンだけが緊急事態ではありません。皆、緊急事態です。だからと言って、私どもが休んでいて良いのでしょうか。勿論、感染対策をしなければなりません。十分な感染対策をもって私どもは活動をできるところから始めて行こうではないかと感じております。

横須賀ロータリークラブさんからデータをいただきましたので、拝見させていただきました。ものすごい、本当に模範的で増加会員が11名もいます。昨年度の入会者数30名、年次寄付もほぼ200%、恒久基金も200%、ポリオ基金100%、申し分のない活動をされていらっしゃいます。特に会員数の推移を見ますと、先ほど地区の会員数の推移をご覧いただきましたが右肩下がりでしたが、横須賀ロータリークラブさんは下がっていません。本当にこれには驚きました。女性会員につきましては、少しずつではありますが、右肩上がり。そして会員数も120名プラス・マイナス2、3名の間に入っていて本当に安定しております。そして最近3年間でも30名の新会員がいらっしゃるという素晴らしい成果を上げていらっしゃいます。これからも是非そのような形で活動されることを祈念いたします。

時間もあと5分位になってしまいました。いろいろなことをお話したかったのですが、最後にRI会長は「時代は変革期を過ぎ、既に新しい時代へ突入しております。ロータリーも新しい変化に対応していかなければなりません。時代の先を進まなければなりません。次の世代に夢を繋いでいくのは“Mover's (変革者)»である私達なのです!」と話されております。

RI会長は「挑戦に立ち向かうのがロータリアンです。船は港にいれば安全ですが、船の目的は港にすることではありません。大海に出てこそ船の目的が成就されるのです。変革者の皆さん、人生とは冒険であり、メンテナンスではありません。」と話されています。また、「私たちは奉仕をして人生を豊かにするためのパワーと魔法を持っている」とも言っておられます。ロータリアンとしての責務である「DO MORE GROW MORE」、もっと活動して、もっともっとやって、もっともっと成長しようと話されています。

この2780地区の最も基盤となっているこちらのクラブです。是非ともリーダーシップをもって、これからも率先して我々を引っ張っていただきたいと感じております。

時間になりました。雑駁な話になってしまいましたが、是非とも1年間ご協力ならびにご指導いただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

ありがとうございました。



<閉会・点鐘> 13:30 八巻会長

週報担当 大石 朗